**アンケートピックアップ**

**11月13日　Reality Accelerator Founder 竹内 壮輔 氏**

**問１ 学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

ベンチャーキャピタルの種類は私が想像していたよりもずっと多くて驚きました。資本を受け取るのにもそのベンチャーキャピタル毎に異なっているのも知りませんでした。どの会社に投資するかという質問では、みんなの意見が様々で面白かったです。また投資が成功するかどうかはもちろんのこと、「成功するまでもっていく」という言葉は、ベンチャーキャピタルとして長年やっていらっしゃるからこその言葉だなと思いました。また、資金調達時の時価の勘違いのお話は起業時にどのような資本で企業を経営しているかに繋がりファイナンスの大切さが分かりました。米国でスタートアップに投資されているのは9兆円なのに対して、日本では2000億円ほどしかないという事実は、日本で起業する人が少ない理由でもあり、企業として成功することがなかなかできない理由でもあると思いました。(経営学部 1年)

ベンチャーキャピタルのアクセラレーターがどのような領域に投資するのかが資金供給面とベンチャーに対する連携度合いによって可視化された図表がわかりやすかったです。また、ベンチャーキャピタルがいかにして稼ぎを手に入れることができ、どのようにベンチャーに働きかけるのかをより明快に教えていただいて、ベンチャーキャピタルの基礎的な知識を得ることができました。ベンチャーキャピタルをやっている人達がなぜその仕事に就きたいと思うのだろうかという疑問がこの授業を受けている理由です。お話を聴いて一番新しいビジネスに触れられることや事業、会社の価値を上げるということが面白いことであるということをきいて、それは確かに面白いだろうなと思いました。(経済学部　1年)

ベンチャーキャピタルの仕組みの解説が、具体的な例もあり、とても分かりやすかったです。また、ベンチャーキャピタルの中にも、資金をどれだけ供給するかや、支援の対象」、内容などに、色々と違いがあるということを学びました、ある会社に投資して成功するかどうかの見極めは困難であり、後発のサービスであっても、大きな成長が見込まれることもあるのだと実感しました。イノベーションは新技術のことではなく、世の中に価値を生み出すようなものであるということを学びました。シリコンバレーの新たなビジネスには、面白いものがたくさんあるということが印象に残りました。失敗も必要なものということが印象に残りました。 (理工学部　化学・生命系　２年)

インスタグラムやメルカリ、グーグルが世界的有名な企業になる前について、どのような状態であったかのか、また当時どれほど新しい発想のことを行っていたのかを知り、驚きました。(経営学部　1年)

ベンチャーキャピタルにおいて投資するかを決めるポイントはいろいろである。経営者の考え方や理念、

ビジネスモデル、社員の質、将来性があるか等である。このポイントは様々であるが、逆に投資をしないと決めるポイントは明確にある。いくらビジネスモデルがよくとも経営者がダメなら投資はすべきでない。投資とは普段自分とは縁遠い言葉だったけど、投資について少し理解できた。イノベーションについて、まずはイノベーションの方法論を学ぶことが必要である。その共通する方法論には、デザイン思考、アジャイル開発、リーンスタートアップなどがある。スポーツ同様まずは方法論を学んで実践していく必要があることを学んだ。（理工学部　数物電子情報系学科　1年）

VCの違いについてグラフや表で解説していただいて大変分かりやすかったです。「面白い仕事以外したくない」とおっしゃっていましたが、きっとこのような感情は誰しもが持っていると思います。しかしそれを信念にして人生を歩んでいるからこそ、大勢の前でハッキリと言うことができるんだろうなと思いました。イノベーションはひらめきによって起こるわけではなく、方法論があるというのは初めて知りました。「Fail Harder」が日本にもくればいいのになあと思いましたが、日本には日本のいいとこがあると思うので様々な角度から考えたいです。（経済学部　1年）

先日、東海オンエアとキズナアイのコラボの動画を観たばかりだったので少し驚きました。最初はTwitterでよく見るなくらいの印象だったキズナアイですが、今ではYouTubeでもすっかり有名になり、前より目にする頻度が増えました。移り変わりの激しい顧客のニーズにいち早くついていく、あるいは作っていくベンチャー企業ですが、今勢いのあるYouTubeと、着実に規模を広げつつあるバーチャルを組み合わせたバーチャルYouTubeというアイディアは本当に前進的で面白いものだと思います。活動範囲を増やしてほしいです。　　　（経営学部　1年）

**問２ 今後のアクションにつなげていきたいこと**

日本、いや世界の交通イノベーションをおこしたいと考えておりましたので、大変参考になりました。Fail Horderの精神でがんばりたいと思いました。(理工学部　材料Ⅰ学科　４年)

A社～E社のうちでどこに投資するか？という講義内の質問で、私はまんまとB社を選んでしまった。事業の「うたい文句」の影響力の大きさを感じるのと同時に事業の質を見極められる目が欲しいなと思った。（経営学部　1年）

私にはまだまだ知らない世界が広がっていることが分かり、もっとおもしろい世界を見たいと思いました。SoFiやCover.inc、Doordashなどについて調べてみようと思います。(経営学部　経営学科　1年)

**授業スタッフの感想**

前回に続いてVCの方のお話を伺ったが、VCにどんな種類があるのか詳しくは知らなかったため大変勉強になった。特に印象に残っているのは、竹内さんの「VCは世の中で一番新しいビジネスに触れることができる」という言葉でVCにかなり興味を持った。もっと深く調べてみて可能であればインターンに行こうと思う。シリコンバレーでの生活も興味深く、シリコンバレーに行ってみようと改めて思った。

日本はアメリカに各方面においてなかなか追いつけないというのを私は、よく耳にします。繊細な技術や高度な技術でアメリカに勝ることはあるにしろ、規模や革新具合などアメリカの方が数十倍上なのではないかと感じます。それは失敗を恐れないアメリカの風潮が大きく関係していると言っても過言ではないと思います。これから先如何に自分が失敗を恐れず、やり遂げることが出来るかで自分の未来は変わっていくと感じました。